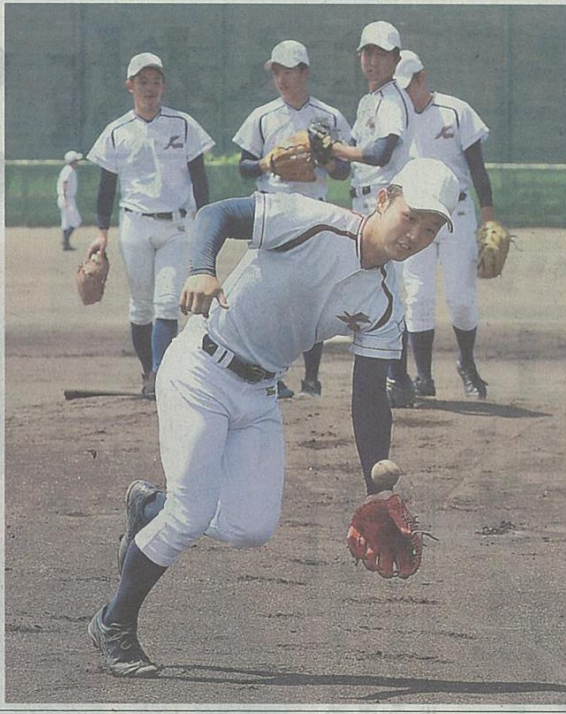


ノックを受ける主戦櫻井 22日午前、八戸市の八学光星グラウンド



光星ナイン 甲子園へ気引き締め 決戦から一夜練習再開

21日に行われた第98回全国高校野球選手権青森大会決勝で2年ぶり8回目の頂点に立った八学光星ナインは22日、八戸市の同校グラウンドで、甲子園出場に向け練習を再開した。

選手たちは午前10時からランニングやストレッチで体をほぐした後、シートノックを受けた。4台のマシンを使った打撃練習では大振りせず、ミットを心掛けて集中して打ち込んだ。グラウンドには大きな声飛び交い、約3時

間にわたり汗を流した。仲井監督は「大会まで1日にはあるようでない。1日も無駄にせずに練習し、個人、チームとして1、2ランク上げていこう」と選手を鼓舞。主将の奥村は「気持ちを切り替えて練習ができて

いる。甲子園で勝つために気を引き締めたい」、決勝で107球を投げ完了した主戦の櫻井は「甲子園でベストの投球ができるよう、しっかりと調整したい」と意気込んだ。大会は8月4日に組み合わせ抽選を行い、7日

に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。ナインは1日に八戸市を発する予定。
(本田海輝)